

令和5年度 沖縄県立那覇国際高等学校 学校評価

学校経営目標											学校関係者評価	
①全職員での課題の共有化と協働・協力体制の確立 ④キャリア教育の視点を取り入れた進路指導の充実 ⑥働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上											A	
②家庭や地域及び関係機関と連携した開かれた学校づくり ⑤学校事務の適正な管理・運営及び学習環境の整備・充実 ⑦各科(普通科、国際科)の特色を生かした魅力ある学校づくり											A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である	
3 評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)												
項目	具体的目標		取組方策						自己評価・外部評価			改善案
						教職員	生徒	保護者	評価			
学校経営	魅力ある学校づくり		1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。			3.5	A	3.4	A	3.2	A	A
			2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。			3.5	A	3.1	B	3.2	A	A
			3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。			3.3	A	3.1	B	3.1	B	B
			4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。			3.6	A	2.9	B	3.0	B	B
	保護者・地域との連携		5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。			3.7	A	3.3	A	3.2	A	A
			6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。			3.8	A	3.3	A	3.2	A	A
授業・学習	授業改善(学力向上)		7 シラバス等を活用し、年間指導計画や評価方法について共有する。			3.6	A	3.3	A	3.2	A	A
			8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。			3.8	A	3.2	A	3.1	B	A
			9 主体的に学習に向かう態度を育成する。			3.1	B	3.2	A	3.0	B	A
			10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。			3.6	A	3.4	A	3.1	B	A
	ICTの活用		11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。			3.7	A	3.3	A	3.2	A	A
	図書館利用の充実		12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。			3.8	A	3.5	A	3.1	B	A
活動別	学校行事等の充実		13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。			3.7	A	3.4	A	3.2	A	A
	部活動の充実		14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。			3.5	A	3.3	A	3.2	A	A
指導	基本的生活習慣の確立		15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。			3.3	A	3.3	A	3.1	B	A
	安全教育の充実		16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。			3.5	A	3.2	A	3.0	B	A
教育権	人権尊重教育の推進		17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。			3.6	A	3.2	A	3.1	B	A
	人権教育の充実		18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。			3.6	A	3.2	A	3.0	B	A
進路指導	進路意識の向上		19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。			3.3	A	2.9	B	2.9	B	B
			20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。			3.8	A	3.4	A	3.3	A	A
	進路相談の充実		21 進路相談の充実と環境整備を図る。			3.6	A	3.3	A	3.2	A	A
安全管理	健康教育の充実		22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。			3.6	A	3.3	A	3.1	B	A
	教育相談の充実		23 教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。			3.6	A	3.0	B	2.9	B	B
	教育環境の整備・安全管理		24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。			3.3	A	3.3	A	3.1	B	A

令和5年度 学校評価(全体集計)

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 1071

項目	具体的目標	取組方策	教職員 (82)		生徒 (675)		保護者 (321)		総合評価
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	3.5	A	3.4	A	3.2	A	A
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	3.5	A	3.1	B	3.2	A	A
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	3.3	A	3.1	B	3.1	B	B
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	3.6	A	2.9	B	3.0	B	B
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	3.7	A	3.3	A	3.2	A	A
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	3.8	A	3.3	A	3.2	A	A
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 シラバス等を活用し、年間指導計画や評価方法について共有する。	3.6	A	3.3	A	3.2	A	A
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	3.8	A	3.2	A	3.1	B	A
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	3.1	B	3.2	A	3.0	B	A
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	3.6	A	3.4	A	3.1	B	A
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	3.7	A	3.3	A	3.2	A	A
	図書館利用の充実	12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.8	A	3.5	A	3.1	B	A
特別活動	学校行事等の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	3.7	A	3.4	A	3.2	A	A
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	3.5	A	3.3	A	3.2	A	A
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	3.3	A	3.3	A	3.1	B	A
	安全教育の充実	16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	3.5	A	3.2	A	3.0	B	A
人権教育	人権尊重教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	3.6	A	3.2	A	3.1	B	A
	人権教育の充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	3.6	A	3.2	A	3.0	B	A
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	3.3	A	2.9	B	2.9	B	B
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	3.8	A	3.4	A	3.3	A	A
	進路相談の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	3.6	A	3.3	A	3.2	A	A
健康・安全管理	健康教育の充実	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	3.6	A	3.3	A	3.1	B	A
	教育相談の充実	23 教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	3.6	A	3.0	B	2.9	B	B
	教育環境の整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	3.3	A	3.3	A	3.1	B	A

令和5年度 学校評価集計【教職員】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 82

項目	具体的目標	取組方策	教職員用 質問	平均	評価	④よくあてはまる(人數)	率	③ややあてはまる(人數)	率	②あまりあてはまらない(人數)	率	①まったくあてはまらない(人數)	率	③+④の人数	③+④の率
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	私たちは、各チームの連携を密に働きやすい職場づくり、円滑な校務運営に努めている。	3.5	A	40	48.8%	40	48.8%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.5	A	43	52.4%	38	46.3%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	私たちは、総合的な探究の時間等を通して、生徒の課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.3	A	40	48.8%	29	35.4%	12	14.6%	1	1.2%	69	84.1%
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	私たちは、異文化理解を深める学習活動を通して、生徒の「国際性・協調性」を育成している。	3.6	A	51	62.2%	29	35.4%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	私たちは、学校だより・学校HP・進路情報等により、生徒の様子を広く家庭や地域に発信している。	3.7	A	60	73.2%	22	26.8%	0	0.0%	0	0.0%	82	100.0%
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して、生徒の学校生活や進路について一緒に考えている。	3.8	A	64	78.0%	17	20.7%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 シラバス等を活用し、年間指導計画や評価方法について共有する。	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、生徒に説明している。	3.6	A	50	61.0%	30	36.6%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.8	A	68	82.9%	13	15.9%	0	0.0%	1	1.2%	81	98.8%
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	私たちは、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、生徒の自学自習の力を育成している。	3.1	B	27	32.9%	38	46.3%	14	17.1%	3	3.7%	65	79.3%
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、生徒の向学心や探究心を育成している。	3.6	A	55	67.1%	25	30.5%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	私たちは、タブレット端末等を活用した授業実践で、生徒の情報活用能力を育成している。	3.7	A	57	69.5%	23	28.0%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
	図書館利用の充実	12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.8	A	63	76.8%	18	22.0%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
特別活動	学校行事等の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の自主的な企画力や運営力を育成している。	3.7	A	61	74.4%	18	22.0%	3	3.7%	0	0.0%	79	96.3%
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	私たちは、部活動(特別活動)を奨励し、生徒の学校生活の充実感を高める体制を整えている。	3.5	A	46	56.1%	30	36.6%	6	7.3%	0	0.0%	76	92.7%
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	私たちは、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	3.3	A	34	41.5%	40	48.8%	6	7.3%	2	2.4%	74	90.2%
	安全教育の充実	16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	私たちは、日常生活や交通面、災害時の安全について、生徒の安全指導に努めている。	3.5	A	42	51.2%	39	47.6%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
人権教育	人権尊重教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	私たちは、人権意識の高揚を図るため、職員研修を行っている。	3.6	A	54	65.9%	27	32.9%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
	人権教育の充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	私たちは、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができている。	3.6	A	53	64.6%	28	34.1%	0	0.0%	1	1.2%	81	98.8%
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	私たちは、飛躍手帳等を活用を推進し、生徒の自己管理能力を育成している。	3.3	A	34	41.5%	39	47.6%	7	8.5%	2	2.4%	73	89.0%
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	私たちは、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、生徒の進路意識の向上に努めている。	3.8	A	65	79.3%	16	19.5%	1	1.2%	0	0.0%	81	98.8%
	進路相談の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	私たちは、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、生徒に合った学びを提供している。	3.6	A	51	62.2%	29	35.4%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
健康・安全管理	健康教育の充実	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	私たちは、生徒の健康面・安全面の管理・対応をしっかり行っている。	3.6	A	54	65.9%	26	31.7%	2	2.4%	0	0.0%	80	97.6%
	教育相談の充実	23 教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	私たちは、相談しやすい体制を整えている。	3.6	A	49	59.8%	33	40.2%	0	0.0%	0	0.0%	82	100.0%
	教育環境の整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	私たちは、清掃活動、学習環境の整備・安全管理の充実を通して、生徒の公共心を育成している。	3.3	A	39	47.6%	35	42.7%	5	6.1%	3	3.7%	74	90.2%

令和5年度 学校評価集計【生徒】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 675

項目	具体的目標	取組方策	生徒用 質問	平均	評価	④よくあてはまる(人数)	率	③ややあてはまる(人数)	率	②あまりあてはまらない(人数)	率	①まったくあてはまらない(人数)	率	③+④の人数	③+④の率
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校生活は充実しており、那覇国際高校に入学して良かった。	3.4	A	336	49.8%	294	43.6%	37	5.5%	8	1.2%	630	93.3%
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、私たちの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.1	B	213	31.6%	350	51.9%	92	13.6%	20	3.0%	563	83.4%
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間」を通じ、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間等を通して、私たちの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.1	B	210	31.1%	355	52.6%	90	13.3%	20	3.0%	565	83.7%
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、私たちの「国際性・協調性」を育成している。	2.9	B	178	26.4%	315	46.7%	152	22.5%	30	4.4%	493	73.0%
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、私たちの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.3	A	288	42.7%	322	47.7%	54	8.0%	11	1.6%	610	90.4%
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して、私の学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.3	A	289	42.8%	334	49.5%	43	6.4%	9	1.3%	623	92.3%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 シラバス等を活用し、年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、私たちに説明している。	3.3	A	306	45.3%	288	42.7%	63	9.3%	18	2.7%	594	88.0%
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.2	A	241	35.7%	360	53.3%	60	8.9%	14	2.1%	601	89.0%
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、私たちの自学自習の力を育成している。	3.2	A	243	36.0%	327	48.4%	85	12.6%	20	3.0%	570	84.4%
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動の授業に、主体的に参加している。	3.4	A	348	51.6%	273	40.4%	44	6.5%	10	1.5%	621	92.0%
	ICTの活用	11 タブレット端末・スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、私たちの情報活用能力を育成している。	3.3	A	339	50.2%	227	33.6%	76	11.3%	33	4.9%	566	83.9%
		12 図書館利用の充実	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.5	A	380	56.3%	246	36.4%	35	5.2%	14	2.1%	626	92.7%
特別活動	学校行事等の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.4	A	341	50.5%	283	41.9%	40	5.9%	11	1.6%	624	92.4%
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた達成感を育成する。	学校は、部活動(特別活動)を奨励し、私たちの学校生活の充実感を高めている。	3.3	A	310	45.9%	298	44.1%	51	7.6%	16	2.4%	608	90.1%
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	3.3	A	293	43.4%	320	47.4%	48	7.1%	14	2.1%	613	90.8%
	安全教育の充実	16 自他の命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、私たちの安全指導に取り組んでいる。	3.2	A	245	36.3%	320	47.4%	87	12.9%	23	3.4%	565	83.7%
人権教育	人権尊重教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、私たちの人権意識の高揚を図っている。	3.2	A	259	38.4%	332	49.2%	64	9.5%	20	3.0%	591	87.6%
	人権教育の充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができている。	3.2	A	245	36.3%	338	50.1%	74	11.0%	18	2.7%	583	86.4%
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳等を活用を推進し、私たちの自己管理能力を育成している。	2.9	B	181	26.8%	290	43.0%	153	22.7%	51	7.6%	471	69.8%
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、私たちの進路意識の向上に効果を上げている。	3.4	A	356	52.7%	267	39.6%	36	5.3%	16	2.4%	623	92.3%
	進路相談の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(ステディサプリ)等の活用で、私たちに合った学びを提供している。	3.3	A	297	44.0%	306	45.3%	60	8.9%	12	1.8%	603	89.3%
健康・安全管理	健康教育の充実	22 健康の保持増進と自他の命を尊重する健康教育を行う。	学校は、私たちの健康面・安全面の管理・対応をしっかり行っている。	3.3	A	282	41.8%	322	47.7%	53	7.9%	18	2.7%	604	89.5%
	教育相談の充実	23 教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、相談しやすい体制を整えている。	3.0	B	195	28.9%	324	48.0%	126	18.7%	30	4.4%	519	76.9%
	教育環境の整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、学習環境が整備され、私たちは清掃活動によく取り組んでいる。	3.3	A	283	41.9%	320	47.4%	52	7.7%	20	3.0%	603	89.3%

令和5年度 学校評価集計【保護者】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 321

項目	具体的目標	取組方策	保護者用 質問	平均	評価	④よくあてはまる(人数)	率	③ややあてはまる(人数)	率	②あまりあてはまらない(人数)	率	①まったくあてはまらない(人数)	率	③+④の人数	③+④の率
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校は、教育目標・方針を分かりやすく保護者に伝え、子どもは充実した学校生活を送っている。	3.2	A	109	34.0%	184	57.3%	26	8.1%	2	0.6%	293	91.3%
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、子どもの興味関心・進路に応じて適切に編成されている。	3.2	A	86	26.8%	205	63.9%	27	8.4%	3	0.9%	291	90.7%
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間等を通して、子どもの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.1	B	95	29.6%	184	57.3%	36	11.2%	6	1.9%	279	86.9%
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、子どもの「国際性・協調性」を育成している。	3.0	B	72	22.4%	175	54.5%	70	21.8%	4	1.2%	247	76.9%
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、子どもの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.2	A	118	36.8%	161	50.2%	38	11.8%	4	1.2%	279	86.9%
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携し、子どもの学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.2	A	120	37.4%	155	48.3%	41	12.8%	5	1.6%	275	85.7%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 シラバス等を活用し、年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、子どもに説明している。	3.2	A	104	32.4%	175	54.5%	37	11.5%	5	1.6%	279	86.9%
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.1	B	70	21.8%	204	63.6%	44	13.7%	3	0.9%	274	85.4%
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、子どもの自学自習の力を育成している。	3.0	B	64	19.9%	211	65.7%	40	12.5%	6	1.9%	275	85.7%
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	学校は、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、子どもの向学心や探究心を育成している。	3.1	B	79	24.6%	194	60.4%	42	13.1%	6	1.9%	273	85.0%
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、子どもの情報活用能力を育成している。	3.2	A	125	38.9%	149	46.4%	39	12.1%	8	2.5%	274	85.4%
図書館利用の充実	12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.1	B	84	26.2%	185	57.6%	49	15.3%	3	0.9%	269	83.8%	
	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.2	A	114	35.5%	177	55.1%	25	7.8%	5	1.6%	291	90.7%	
特別活動	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間力を育成する。	学校は、適切な部活動指導等を行い、子どもは学業と部活動(特別活動)の両立ができる。	3.2	A	104	32.4%	174	54.2%	38	11.8%	5	1.6%	278	86.6%	
	15 基本的生活習慣の確立	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	3.1	B	79	24.6%	204	63.6%	33	10.3%	5	1.6%	283	88.2%
生徒指導	16 安全教育の充実	自他の命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、子どもの安全指導に取り組んでいる。	3.0	B	69	21.5%	201	62.6%	48	15.0%	3	0.9%	270	84.1%
	17 人権尊重教育の推進	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、子どもの人権意識の高揚を図っている。	3.1	B	81	25.2%	208	64.8%	29	9.0%	3	0.9%	289	90.0%
人権教育	18 人権教育の充実	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができている。	3.0	B	61	19.0%	219	68.2%	36	11.2%	5	1.6%	280	87.2%
	19 進路意識の向上	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳等を活用を推進し、子どもの自己管理能力を育成している。	2.9	B	69	21.5%	168	52.3%	72	22.4%	12	3.7%	237	73.8%
進路指導	20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、子どもの進路意識の向上に効果を上げている。	3.3	A	131	40.8%	160	49.8%	26	8.1%	4	1.2%	291	90.7%	
	21 進路相談の充実	進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(ステディサプリ)等の活用で、子どもに合った学びを提供している。	3.2	A	116	36.1%	171	53.3%	29	9.0%	5	1.6%	287	89.4%
	22 健康教育の充実	健康の保持増進と自他の命を尊重する健康教育を行う。	学校は、子どもの健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.1	B	87	27.1%	189	58.9%	38	11.8%	7	2.2%	276	86.0%
健康・安全管理	23 教育相談の充実	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、相談しやすい体制を整えている。	2.9	B	58	18.1%	183	57.0%	67	20.9%	13	4.0%	241	75.1%
	24 教育環境の整備・安全管理	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、清掃活動・学習環境の整備・安全管理が整っており、子どもの公共心を育成している。	3.1	B	76	23.7%	201	62.6%	37	11.5%	7	2.2%	277	86.3%

(第2号様式)

那覇国際第2863号
令和6年3月15日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇国際高等学校
校長 仲宗根 勝
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月13日 15:25～16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員3名、 管理者4名、各主任7名
第2回	日時	令和5年12月15日 15:25～16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員3名、 管理者4名、各主任7名
第3回	日時	令和6年3月15日 15:25～16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員4名、 管理者4名、各主任6名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校教育目標(学校経営グランドデザイン)の説明(第1回)
- ②各部・各学年の今年度の取組目標及び具体的方策の説明(第1回)
- ③各部・各学年の今年度取組における中間評価の結果説明(第2回)
- ④学校行事その他運営状況報告(教頭)(第1～3回)
- ⑤令和5年度学校評価結果説明(第3回)

3 学校評議員の意見

- ①早朝講座廃止後の効率的な学習時間提供の評価。
- ②早寝早起きの生活習慣を徹底し、伸び伸び学習できる環境の充実。
- ③教育相談が必要な生徒への対応。
- ④ICT環境整備の促進。
- ⑤教職員と生徒・保護者の評価の差異は、同一の評価基準によるもので改善が必要。
- ⑥保護者等に向けた学校の取組の更なる周知。

4 学校運営に反映した事項

- ①総合的な探究の時間の充実及び教員の指導方法の改善。
- ②各学年や生徒ガイダンス部と連携し、モバイル端末使用のモラルやマナーの指導充実。
- ③保護者と連携した生活習慣及び学習習慣の改善と、施設・学習環境の改善。
- ④ICTを活用した効果的な授業改善による、生徒の学力向上。
- ⑤2学年による、デジタル連絡アプリ(スクリレ)の導入。
- ⑥学校評議員他、学校関係者(後援会、PTA)、管理者による連絡会の開催。

5 課題その他

- ・新たに導入された観点別学習状況の評価についての改善点の確認と、教職員間の共通理解。
- ・学習活動や評価の場面におけるICT機器の効果的な活用方法のさらなる研究。
- ・県外・国外上級学校進学に向けた取組。
- ・全学年に、デジタル連絡アプリ(スクリレ)を導入。
- ・生徒の派遣費予算の確保。